



モノ、ヒト シゴト

TOYOKAWA PRODUCE

豊川市が誇るモノづくりと、それに携わるヒト
を紹介します。

住まいを支えるモノづくり

VOL.
49

株式会社ヤスタコーポレーション
執行役員・堀山 訓成さん

建材用加工機械トップシェア

住宅メーカー向けの建材用加工機械を製造するヤスタコーポレーション。中でも、住宅のフローリングなどに使われる建材の両端に凹凸加工を施す機械・ダブルエンドテノーナは、国内のフローリング業界において9割以上のシェアを誇っている。執行役員の堀山さんは、「機械を構成する部品一つ一つにこだわり、独自技術を組み込むことで、精度の高い建材加工を実現している」と語る。

高精度な加工の実現

ダブルエンドテノーナは、建材を搬送させながら回転する刃に当て、切削加工を行う。加工された建材の凹凸部分を接合することで、住宅のフローリングなどが作られる。

建材の接合部分の仕上がりがフローリングなどの品質に直結するため、顧客からは高い精度で切削加工できる機械が求められる。顧客の要望に応えるためには、建材が機械内部をまっ

すぐ安定して進み、切削される必要がある。そこで、ぶれを0.05mm以内に抑える独自のチェーンとレールを導入し、建材の安定した搬送を可能とした。また、切削する刃の回転を千分の1mm単位で調整し、凹凸部分の精度を追求。堀山さんは「顧客の要望に寄り添ったモノづくりを心掛けています」と話す。

近年は、建材の多様化が進み、木材だけでなくポリ塩化ビニールや人工大理石などの加工にも対応。切削する素材に合わせて加工方法を変更するなど、顧客のニーズに応じて、オーダーメイドで製造している。

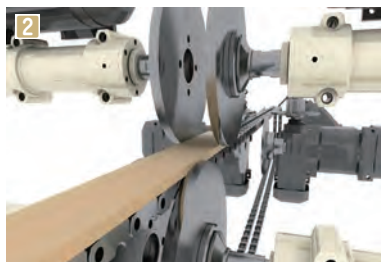
人々の住まいを支え続ける

「自分たちが手掛けた機械から出来上がったフローリングが、国内ほとんどの住宅に使われていることに誇りを感じる」と堀山さん。機械の優れた耐久性も顧客から好評を得ているヤスタコーポレーションは、長年培ってきた技術でこれからも人々の住まいを支えていく。

株式会社ヤスタコーポレーション

一宮工場: 一宮町上新切413

1956年設立。一宮工場は1986年操業開始。住宅のフローリングなどに使われる建材を加工する機械・ダブルエンドテノーナを製造し、国内トップシェアを誇る。



1 工場のラインに導入されるダブルエンドテノーナ 2 独自のチェーンとレールで建材を搬送させ、切削加工を行う 3 機械の組み立ては熟練した技術をもつ職人の手で行われる